

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

9月報

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ : 報告数は0件(前月比0.0、前年同月比0.0)でした。本年の1月をピークに急激に減少していましたが、9月は発症の報告がありません。全国的にも流行は認められません。

小児科定点 (全体傾向)

報告数は3,320件(前月比1.08、前年同月比1.22)と前月とほぼ同数の報告です。感染性胃腸炎(前月比1.2)は例年と同様に低いレベルです。RSウイルス感染症も前月比3.2と増加傾向にありますが例年と比べ低いレベルです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数は186件(前月比3.2、前年同月比0.4)と増加傾向にありますが、例年ほどではありません。宇城(7.8)八代(6.3)からの報告が多いです。1才にピークがあります。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は43件(前月比1.1、前年同月比1.0)で、5月以降ほぼ横ばいです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は189件(前月比1.0、前年同月比1.0)で、例年同様、の傾向にあります。例年10月以降に増加する傾向があります。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,209件(前月比1.2、前年同月比1.2)で、本年1月をピークに減少しており、ほぼ例年と同様の傾向です。菊池(61.4)有明(42.4)山鹿(37.0)からの報告が多いです。
5. 水痘 : 報告数は20件(前月比0.7、前年同月比0.1)で、本年に入り減少傾向が著名です。全国的にも最近10年で最も低い状態です。昨年10月に定期接種が導入されて以降低水準で経過しています。
6. 手足口病 : 報告数は592件(前月比0.9、前年同月比2.1)で、例年同様7月にピークがあり減少傾向です。山鹿(28.5)菊池(25.8)からの報告が多いです。1才にピークがあります。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は147件(前月比1.2、前年同月比147.0)で、6月以降増加傾向にあります。全国的には29週をピークに減少傾向です。
8. 突発性発疹 : 報告数は170件(前月比1.3、前年同月比0.9)でした。例年とほぼ同様の傾向で、この3年間、通年性に発症の報告がありますが、やや夏に多い傾向があります。
9. 百日咳 : 報告数は3件(前月比3.0、前年同月比1.5)です。6月に7件でしたが、徐々に減少傾向です。
10. ヘルパンギーナ : 報告数は218件(前月比0.7、前年同月比1.2)で、7月をピークに減少しています。例年同様にほぼ収束傾向にあります。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は143件(前月比1.1、前年同月比4.9)で、最近3年間では多い傾向で推移しています。有明(9.6)人吉(9.0)からの報告が多いです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 :報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎 :報告数273件(前月比1.1、前年同月7.0)と勢いが衰えませんが、九州では宮崎を筆頭に熊本、福岡、長崎、鹿児島と多発していますので 他県への移動時にも注意が必要です。年齢別では1歳未満から60歳台まで広い範囲に発症していますので、今後も感染の拡大に注意が必要です。地域別では熊本244件、菊池14件、有明10件、天草5件の報告です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :報告数35件(前月比0.8、前年同月比0.7)で、前月比、前年同月比共に減少しています。男女別は、男性12件、女性23件と女性に多く見られています。年齢別は、女性は20～24歳に10件と多く、男性では25～34歳に5件と比較的多く見られています。地区別は、熊本が19件と多く、次いで宇城5件、菊池・御船・八代各3件、有明2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数17件(前月比1.3、前年同月比0.9)で前月比は増加し、前年同月比は減少しています。男女別は、男性5件、女性12件と女性に多く見られています。年齢別は、女性は15～24歳に5件と多く見られ、男性は、20～34歳に3件、55～64歳に2件でした。地区別は、熊本が9件、八代5件、菊池・有明・宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :報告数5件(前月比1.3、前年同月比1.7)で、前月比・前年同月比共に増加しています。男女別は、男性3件、女性2件でした。年齢別は、男性は35～39歳2件、45～49歳1件でした。女性は20～29歳に2件でした。地区別は、御船2件、熊本・八代・宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症 :報告数17件(前月比0.7、前年同月比0.7)で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別は、男性12件、女性5件でした。年齢別は、男性は25～29歳に5件、女性は20～24歳に3件と多く見られています。地区別は、熊本が12件と多く、次いで菊池・八代各2件、御船1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :報告数14件(前月比 0.9、前年同月比 0.6)でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :報告数3件(前月比 0.5、前年同月比 0.6)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :報告数0件でした。ここ1年発生なしです。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 :報告数0件(前月比、前年同月とかわらず)でした。
2. 無菌性髄膜炎 :報告数9件(前月比 1.8、前年同月比 4.5)でした。6ヶ月から1才に多くみられています。
3. マイコプラズマ肺炎 :報告数27件(前月比 2.2、前年同月比 3.4)でした。増加傾向であり要注意です。
4. 感染性胃腸炎 :報告数0件(前月に同じ、前年同月に同じ)でした。

届け出対象感染症

1類感染症	: 報告はありませんでした。	
2類感染症	: 結核	: 30件
3類感染症	: 腸管出血性大腸菌感染症	: 2件
	細菌性赤痢	: 1件
4類感染症	: レジオネラ症	: 4件
5類感染症	: カルバペネム耐性腸内細菌感染症	: 1件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	: 1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	: 1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	: 2件
	梅毒	: 2件
	播種性クリプトコックス症	: 1件

【訂正】

基幹定点による薬剤耐性緑膿菌感染症の届出(6月:1件、7月:1件、8月:3件)は基準を満たしていなかったことにより、取り下げられました。それにともない、薬剤耐性緑膿菌感染症の届出数は、8月までの累計5件は累計0件に訂正します。